

## その情報、本当かな？

フェイクニュースを見極めよう

災害が起きたとき、SNSで素早く情報が共有され、救助につながることが増えました。とても心強い一方で、関係のないデマが広がってしまうこともあります。中には、善意のつもりでデマを拡散してしまう人もいるようです。いざという時こそ、落ち着いて情報を確かめることが大切ですね。今回は、情報が正しいか正しくないかについての見極め方について考えてみたいと思います。



### 能登半島地震における偽・誤情報について

能登半島地震（2024年1月1日発生）では、インターネットで偽・誤情報が多く流れました。内容は、地震被害状況の誤情報、救助を求める偽情報の投稿、あるいはその偽・誤情報を多くの方が再投稿することによって、救命・救助活動等を妨げるような状況が起こりました。

情報通信研究機構（NICT）※の調べによると

- ・能登半島地震発生後24時間以内に投稿された救助を求める報告数… 約1,100件  
この約1,100件のうち、104件（約10分の1）が偽情報と推定
- ・熊本地震（2016年4月14日発生）で救助を求める報告数… 573件  
この573件のうち、1件が偽情報と推定

※情報通信研究機構（NICT）鳥澤健太郎フェロー「NICTにおける取り組み、検討のご紹介」

デジタル空間における情報流通の健全性確保の在り方に関する検討会（2024年4月15日）

発表資料 <[https://www.soumu.go.jp/main\\_content/000942562.pdf](https://www.soumu.go.jp/main_content/000942562.pdf)>

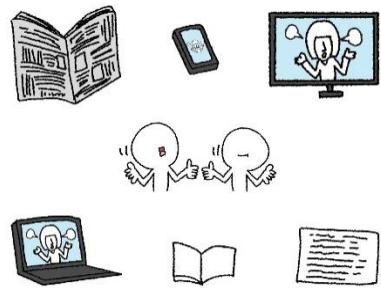
【参考】総務省：情報通信白書 for Kids：インターネットの安心安全な使い方：  
能登半島地震（のとんとうじしん）における偽（にせ）・誤情報  
（ごじょうほう）への対応（たいおう）



# 【フェイクニュースの見極めのポイント】

## 「情報源はある？」

- ✓ その情報はどこから、いつ発信されたものですか？
- ✓ 根拠となるモノ・コトは今も存在していますか？
- ✓ 情報源が「海外の」ニュースや論文の場合、あなたはその情報源を確認、理解していますか？



## 「その分野の専門家？信頼できる人？」



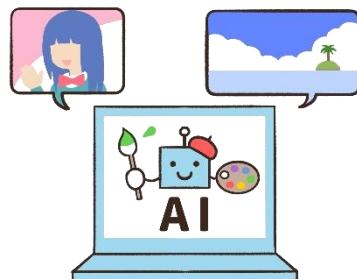
- ✓ その情報は、専門知識や必要な資格を持った人が、責任を持って発信しているものですか？
- ✓ その人は過去に、偽情報や誤情報を発信して批判されたりしたことはありませんか？
- ✓ その人は関連する情報や商品を売っていませんか？

## 「他ではどう言われている？」

- ✓ その情報について、他の人や他のメディアはどのように言っていますか？
- ✓ その人の意見に反論している人はいませんか？
- ✓ 別の内容で報じているメディアや、誤りであることを指摘しているメディアや投稿はありませんか？



## 「生成AIのある時代、その画像は本物？」



- ✓ 動画や映像だから？臨場感があるから？それだけで「本当」と判断して大丈夫ですか？
- ✓ 画像検索をしたら、同じものがヒットしませんか？
- ✓ 過去に撮影された全く無関係のものや、それらを元にAIによって生成されたものではありませんか？

【出典】インターネットトラブル事例集 2025年版（総務省）  
[https://www.soumu.go.jp/use\\_the\\_internet\\_wisely/trouble/](https://www.soumu.go.jp/use_the_internet_wisely/trouble/)

### 【お問い合わせ】

福井県防災安全部県民安全課  
☎:0776-20-0296(直通)  
メール:[kenan@pref.fukui.lg.jp](mailto:kenan@pref.fukui.lg.jp)  
HP:[インターネット安心・安全利用通信](http://internet安心安全利用通信) | 福井県ホームページ

X (エックス)  
安全安心ふくい



インターネット  
安心安全通信HP

